

公益社団法人 日本医学物理学会

2024 年度 定時社員総会

日時： 2024 年 4 月 13 日(土) 18:20－19:50

場所： パシフィコ横浜 418 会議室

議案：

第1号議案 2023 年度事業報告承認の件

第2号議案 2023 年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減計算書)承認の件

第3号議案 理事・監事選任の件

第4号議案 その他

報告：

2024 年度事業計画に関する件

2024 年度予算に関する件

2023 年度委員会報告

以上

2023 年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 学術講演会の開催

第 125 回大会

会 期：2023 年 4 月 13 日(木)－16 日(日)

会 場：パシフィコ横浜 会議センターおよびウェブ開催

大会長：阿部 慎司（茨城県立医療大学）

内 容：口頭発表、CyPos、特別講演、教育講演、シンポジウム、機器展示 等

参加登録人数：921 名（会員：772 名、招待：32 名、学生：59 名、非会員学生：58 名）

うち 現地来場者数：名（会員：557 名、招待：21 名、学生：53 名、非会員学生：54 名）

発表件数：件（ICRPT：118、一般：72）（内、不採択数 5 ICRPT：5、一般：0）

※ICRPT…International Conference on Radiological Physics and Technology の略

第 126 回大会

会 期：2023 年 9 月 15 日(木)－ 17 日(土)

会 場：広島コンベンションホール

大会長：小澤 修一（広島がん高精度放射線治療センター）

内 容：一般演題発表（口頭・ポスター）、特別講演、教育講演、シンポジウム、機器展示 等

参加登録人数：全体 427 名（会員 318 名、学生 81 名、非会員 28 名）

登録演題数：122（一般演題 70（内 1 件取り下げ、1 件身内の不幸で欠席））、ポスター発表 52（内 3 件取り下げ）

2. 市民公開講座

第 126 回大会にて開催

日 時：2023 年 9 月 17 日(日)

会 場：広島県医師会での現地開催、および学術大会会場へ中継

テーマ：「逆境を乗り越えて生きる力」～ヒューマンストーリーからの学び～

参加者：現地参加約 100 名

3. 学術出版物の刊行

「医学物理」(43 巻 1 号－4 号)

Supplement 43-1（第 125 回大会 報文集）

Supplement 43-2（第 125 回大会 教育講演資料）

Supplement 43-3（第 126 回大会 報文集）

Supplement 43-4（第 126 回大会 教育講演資料）

必要に応じて、ガイドライン等を Supplement として刊行

38 巻より電子版の発行に移行しており、冊子体を希望する会員へは有償頒布した。Supplement 43-4 は電子版のみの頒布。

“Radiological Physics and Technology”(Vol.17, No.1～No.4)

日本放射線技術学会と共同刊行

3,6,9,12 月発行

4. 委員会活動

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 計測 | 6. QA/QC | 11. 大会支援 |
| 2. 教育 | 7. 広報 | 12. 学際交流 |
| 3. 編集 | 8. 用語 | 13. 医学物理士 |
| 4. 放射線防護 | 9. 総務 | |
| 5. 国際交流 | 10. 倫理 | |

5. 論文賞の授与

土井賞

核医学・MRI 分野	Nitta, M., Nishikido, F., Inadama, N. et al.	Discrimination of inter-crystal scattering events by signal processing for the X'tal cube PET detector. Radiol Phys Technol 16, 516–531 (2023).
診断物理分野	Narita, A., Ohsugi, Y., Ohkubo, M. et al.	Method for measuring noise-power spectrum independent of the effect of extracting the region of interest from a noise image. Radiol Phys Technol 16, 471–477 (2023).
治療物理分野	Oguma, K., Magome, T., Someya, M. et al.	Virtual clinical trial based on outcome modeling with iteratively redistributed extrapolation data. Radiol Phys Technol 16, 262–271 (2023).

MCA 賞 (Most Citation Award)

Yuya Nishitani	“Segmentation of teeth in panoramic dental X-ray images using U-Net with a loss function weighted on the tooth edge”
Seiichi Yamamoto	“Discovery of the luminescence of water during irradiation of radiation at a lower energy than the Cherenkov light threshold”
Ryosuke Ota	“Photon counting detectors and their applications ranging from particle physics experiments to environmental radiation monitoring and medical imaging”

優秀査読者賞

Akram Hamato	National Institutes for Quantum Science and Technology
Tatsuya Inoue	Juntendo University
Hiroyuki Kabasawa	International University of Health and Welfare
Keisuke Matsubara	Akita Prefectural University
Eri Matsuyama	University of Fukuchiyama
Keisuke Yasui	Fujita Health University

6. 対外活動

IOMP への参画 (National Member、委員参加)

AFOMP への参画 (National Member、委員参加)

日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会との
連携 (合同の第三者出力線量評価認定作業部会、
情報交換等)

日本生体医工学会との連携 (相互に団体会員)

医学物理士認定機構 (構成団体、評議員)

放射線治療品質管理機構 (構成団体、理事)

日本ラジオロジー協会 (理事)

乳がん検診精度管理中央機構 (理事)

日本放射線研究連合への参画 (団体会員)

医療被ばく研究情報ネットワークへの参画
(団体会員)

アイソトープ・放射線研究発表会への参画
(発表会の際の運営委員)

日本画像医療システム工業会 (委員)

医用原子力技術研究振興財団 (委員)

量研機構放医研 (重粒子線がん治療装置等共同
利用運営委員会委員)

「国際医学物理の日」記念集会の企画・実施

日本加速器学会との連携 (「Accelerator and
Medical Physics」(仮題)の共同執筆)

【その他事業】

1. サマーセミナー

会 期:2023 年 9 月 1 日 (金)～3 日 (日)

現地と Zoom を利用したウェビナーの併用 (後日オンデマンド配信)

会 場:ホテルリステル猪苗代

参加者:101 名 (会員 90 名、学生会員 7 名、非会員 4 名)

2. 研究課題援助

下記のものに研究課題援助を行った。

<新規>

研究代表者:増田孝充 量子科学技術研究開発機構)

課題名:生体のミクロな低酸素環境が放射線による細胞死に与える影響の評価

<継続>

研究代表者:赤松 剛 量子科学技術研究開発機構)

課題名:医用コンプトンカメラの性能評価技術開発

3. 研究成果報告奨励

新型コロナウイルス感染拡大の影響および入国ビザの問題で実施しなかった。

【法人】

1. 社員総会・理事会の開催

定時社員総会をパシフィコ横浜において 2023 年 4 月 15 日(土)に開催した。

理事会を開催し(2023/3/25、4/13、6/3、9/15、12/2、2024/2/3 の計 6 回)、電子メールによる議決を下記の通り行った。

2023 年 4 月 29 日	治療計画スクリプトガイドライン発刊について
2023 年 4 月 28 日	AFOMP の賞への推薦について
2023 年 5 月 17 日	AFOMP award エントリーについて
2023 年 7 月 11 日	IOMP アワードへのエントリーについて
2023 年 8 月 2 日	2023 年度研究課題援助について
2023 年 9 月 29 日	JASTRO 第三者評価ガイドライン 2023 について
2023 年 10 月 25 日	日本医学物理学会における演題の倫理承認および利益相反(COI)に関する指針について
2024 年 1 月 9 日	2023 年度 RPT 誌土井賞・優秀査読者賞について

2. 代議員選挙の実施と理事及び監事候補選挙の実施と選出

3. 名誉会員の推薦

榮 武二氏を推薦した。

4. 共催および後援

共催

第 7 回 ICRP 国際シンポジウムサテライトイベント

協賛

第 42 回日本医用画像工学会大会

第 61 回アイソトープ・放射線研究発表会

後援

日本放射線影響学会第 66 回大会

第4回標的アイソトープ治療線量評価研究会大会 Web 大会

以上

附属明細書

1. 該当事項なし

貸借対照表

2024年 2月29日現在

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	47,194,246	44,905,242	2,289,004
未収金	875,208	389,262	485,946
貯蔵品	5,000	5,000	0
前払費用	597,400	530,365	67,035
流動資産合計	48,671,854	45,829,869	2,841,985
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
基金拠出金	1,000,000	1,000,000	0
田中榮一基金	1,000,000	1,000,000	0
国際大会誘致・開催積立資金	14,500,000	13,000,000	1,500,000
特定資産合計	16,500,000	15,000,000	1,500,000
固定資産合計	21,500,000	20,000,000	1,500,000
資産合計	70,171,854	65,829,869	4,341,985
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	3,317,170	2,132,883	1,184,287
前受金	2,100,000	900,000	1,200,000
前受会費	7,050,000	7,000,000	50,000
預り金	5,685	0	5,685
流動負債合計	12,472,855	10,032,883	2,439,972
負債合計	12,472,855	10,032,883	2,439,972
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	1,000,000	1,000,000	0
2. 一般正味財産	56,698,999	54,796,986	1,902,013
(うち基本財産への充当額)	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	15,500,000	14,000,000	1,500,000
正味財産合計	57,698,999	55,796,986	1,902,013
負債及び正味財産合計	70,171,854	65,829,869	4,341,985

正味財産増減計算書

2023年 3月 1日から2024年 2月29日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	25,742,000	25,306,000	436,000
受取入会金	372,000	424,000	△ 52,000
正会員会費	24,488,000	23,996,000	492,000
学生会員会費	452,000	456,000	△ 4,000
賛助会員会費	430,000	430,000	0
広告収益	396,000	396,000	0
バナー広告料	396,000	396,000	0
著作権収益	823,488	2,054,936	△ 1,231,448
著作権収益	823,488	2,054,936	△ 1,231,448
刊行物収益	79,775	81,720	△ 1,945
刊行物収益	79,775	81,720	△ 1,945
大会・講習会収益	20,457,200	11,906,371	8,550,829
春季大会収益	1,960,000	2,134,000	△ 174,000
秋季大会収益	16,711,200	7,648,371	9,062,829
サマーセミナー	1,305,000	1,705,000	△ 400,000
ウインターセミナー	481,000	419,000	62,000
雑収益	412	359	53
雑収益	412	359	53
経常収益計	47,498,875	39,745,386	7,753,489
(2) 経常費用			
事業費	39,121,709	27,200,778	11,920,931
臨時雇用賃金	320,864	260,702	60,162
会議費	2,683,393	643,038	2,040,355
旅費交通費	2,730,548	981,537	1,749,011
通信運搬費	149,211	137,800	11,411
消耗品費	800,705	585,674	215,031
印刷製本費	5,076,306	5,449,195	△ 372,889
賃借料	10,214,408	3,100,377	7,114,031
諸謝金	2,125,836	1,718,049	407,787
支払助成金	1,000,000	1,100,000	△ 100,000
支払負担金	2,323,298	1,751,076	572,222
委託費	9,968,129	9,470,442	497,687
システム維持費	1,494,216	1,808,538	△ 314,322
雑費	234,795	194,350	40,445
管理費	6,475,153	5,308,083	1,167,070
会議費	457,625	299,450	158,175
旅費交通費	1,070,340	613,685	456,655
通信運搬費	462,089	108,633	353,456
消耗品費	157,300	61,380	95,920
印刷製本費	132,246	47,276	84,970
委託費	4,121,944	4,139,569	△ 17,625
租税公課	1,070	1,580	△ 510
雑費	72,539	36,510	36,029
経常費用計	45,596,862	32,508,861	13,088,001
評価損益等調整前当期経常増減額	1,902,013	7,236,525	△ 5,334,512
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,902,013	7,236,525	△ 5,334,512
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,902,013	7,236,525	△ 5,334,512
一般正味財産期首残高	54,796,986	47,560,461	7,236,525
一般正味財産期末残高	56,698,999	54,796,986	1,902,013
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	57,698,999	55,796,986	1,902,013

正味財産増減計算書内訳表

2023年 3月 1日から2024年 2月29日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	10,300,800	0	15,441,200	0	25,742,000
受取入会金	148,800	0	223,200	0	372,000
正会員会費	9,799,200	0	14,688,800	0	24,488,000
学生会員会費	180,800	0	271,200	0	452,000
賛助会員会費	172,000	0	258,000	0	430,000
広告収益	396,000	0	0	0	396,000
バナー広告料	396,000	0	0	0	396,000
著作権収益	823,488	0	0	0	823,488
著作権収益	823,488	0	0	0	823,488
刊行物収益	79,775	0	0	0	79,775
刊行物収益	79,775	0	0	0	79,775
大会・講習会収益	19,152,200	1,305,000	0	0	20,457,200
春季大会収益	1,960,000	0	0	0	1,960,000
秋季大会収益	16,711,200	0	0	0	16,711,200
サマーセミナー	0	1,305,000	0	0	1,305,000
ウインターセミナー	481,000	0	0	0	481,000
雑収益	0	0	412	0	412
雑収益	0	0	412	0	412
経常収益計	30,752,263	1,305,000	15,441,612	0	47,498,875
(2) 経常費用					
事業費	35,974,001	3,147,708	0	0	39,121,709
臨時雇用賃金	320,864	0	0	0	320,864
会議費	2,640,280	43,113	0	0	2,683,393
旅費交通費	2,574,094	156,454	0	0	2,730,548
通信運搬費	148,841	370	0	0	149,211
消耗品費	782,748	17,957	0	0	800,705
印刷製本費	5,076,306	0	0	0	5,076,306
賃借料	9,337,630	876,778	0	0	10,214,408
諸謝金	1,981,055	144,781	0	0	2,125,836
支払助成金	0	1,000,000	0	0	1,000,000
支払負担金	2,323,298	0	0	0	2,323,298
委託費	9,122,289	845,840	0	0	9,968,129
システム維持費	1,494,216	0	0	0	1,494,216
雑費	172,380	62,415	0	0	234,795
管理費	0	0	6,475,153	0	6,475,153
会議費	0	0	457,625	0	457,625
旅費交通費	0	0	1,070,340	0	1,070,340
通信運搬費	0	0	462,089	0	462,089
消耗品費	0	0	157,300	0	157,300
印刷製本費	0	0	132,246	0	132,246
委託費	0	0	4,121,944	0	4,121,944
租税公課	0	0	1,070	0	1,070
雑費	0	0	72,539	0	72,539
経常費用計	35,974,001	3,147,708	6,475,153	0	45,596,862
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,221,738	△ 1,842,708	8,966,459	0	1,902,013
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,221,738	△ 1,842,708	8,966,459	0	1,902,013
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 5,221,738	△ 1,842,708	8,966,459	0	1,902,013
当期一般正味財産増減額	△ 5,221,738	△ 1,842,708	8,966,459	0	1,902,013
一般正味財産期首残高					54,796,986
一般正味財産期末残高					56,698,999
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高					1,000,000
指定正味財産期末残高					1,000,000
III 正味財産期末残高					57,698,999

予算対比正味財産増減計算書

2023年 3月 1日から2024年 2月29日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	25,970,000	25,742,000	228,000
受取入会金	440,000	372,000	68,000
正会員会費	24,600,000	24,488,000	112,000
学生会員会費	500,000	452,000	48,000
賛助会員会費	430,000	430,000	0
広告収益	396,000	396,000	0
バナー広告料	396,000	396,000	0
会誌掲載料	50,000	0	50,000
会誌掲載料	50,000	0	50,000
著作権収益	790,000	823,488	△ 33,488
著作権収益	790,000	823,488	△ 33,488
刊行物収益	100,000	79,775	20,225
刊行物収益	100,000	79,775	20,225
大会・講習会収益	20,490,000	20,457,200	32,800
春季大会収益	2,450,000	1,960,000	490,000
秋季大会収益	14,940,000	16,711,200	△ 1,771,200
サマーセミナー	2,600,000	1,305,000	1,295,000
ウインターセミナー	500,000	481,000	19,000
雑収益	1,000	412	588
雑収益	1,000	412	588
経常収益計	47,797,000	47,498,875	298,125
(2) 経常費用			
事業費	43,396,000	39,121,709	4,274,291
臨時雇用賃金	180,000	320,864	△ 140,864
会議費	1,661,060	2,683,393	△ 1,022,333
旅費交通費	2,460,000	2,730,548	△ 270,548
通信運搬費	539,000	149,211	389,789
消耗品費	375,000	800,705	△ 425,705
印刷製本費	8,864,750	5,076,306	3,788,444
賃借料	9,839,750	10,214,408	△ 374,658
諸謝金	2,730,000	2,125,836	604,164
支払助成金	1,600,000	1,000,000	600,000
支払負担金	2,260,000	2,323,298	△ 63,298
委託費	9,422,284	9,968,129	△ 545,845
システム維持費	2,806,000	1,494,216	1,311,784
雑費	658,156	234,795	423,361
管理費	6,952,000	6,475,153	476,847
臨時雇用賃金	30,000	0	30,000
会議費	300,000	457,625	△ 157,625
旅費交通費	800,000	1,070,340	△ 270,340
通信運搬費	500,000	462,089	37,911
消耗品費	150,000	157,300	△ 7,300
印刷製本費	150,000	132,246	17,754
委託費	4,920,000	4,121,944	798,056
租税公課	2,000	1,070	930
雑費	100,000	72,539	27,461
経常費用計	50,348,000	45,596,862	4,751,138
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,551,000	1,902,013	△ 4,453,013
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,551,000	1,902,013	△ 4,453,013
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,551,000	1,902,013	△ 4,453,013
一般正味財産期首残高	54,796,986	54,796,986	0
一般正味財産期末残高	52,245,986	56,698,999	△ 4,453,013
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	53,245,986	57,698,999	△ 4,453,013

財産目録

2024年 2月29日現在

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金預金	普通預金		23,103,656	
		みずほ銀行高田馬場支店	運転資金として	14,967,554	
		三菱UFJ銀行高田馬場支店	運転資金として	8,136,102	
		郵便振替		24,090,590	
		郵便振替口019店998	運転資金として	21,390,590	
		郵便振替019店001	運転資金として	2,700,000	
		未収金		875,208	
	貯蔵品	(公社)日本放射線技術学会	MCA賞副賞負担金、感謝状作成費	13,208	
		(株)国際文献社	ウインターセミナー参加費返金分	466,000	
		(株)日立製作所他	バナー広告3件	396,000	
		(株)国際文献社内	図書カード	5,000	
		前払費用		597,400	
		(株)ソウブン・ドットコム	第127回大会HP作成費	530,200	
			第127回大会費用	48,500	
		(株)コングレ	翌事業年度理事会会場費	18,700	
流動資産合計				48,671,854	
(固定資産)	基本財産			5,000,000	
		普通預金	三菱UFJ銀行高田馬場支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	5,000,000
	特定資産	基金拠出金	日本ラジオロジー協会	基金拠出金	16,500,000
		田中榮一基金	みずほ銀行高田馬場支店	寄付により受け入れた財産であり、公益目的事業の財源として使用している	1,000,000
		国際大会誘致・開催積立資金	みずほ銀行高田馬場支店	特定費用準備資金であり、国際大会誘致・開催の財源として使用している。	1,000,000
					14,500,000
固定資産合計				21,500,000	
資産合計				70,171,854	
(流動負債)	未払費用			3,317,170	
		(株)国際文献社	当事業年度分の事業費、管理費等	3,239,425	
		執筆料・印税	医学物理物理教科書執筆者4名分	57,745	
		論文賞	MCA賞副賞	20,000	
	前受金		翌事業年度分の大会収益	2,100,000	
	前受会費			7,050,000	
	正会員会費		翌事業年度以降の会費	6,784,000	
	学生会員会費		翌事業年度以降の会費	62,000	
	賛助会員会費		翌事業年度以降の会費	180,000	
	入会金		翌事業年度以降の入会金	24,000	
	預り金	四谷税務署	源泉税	5,685	
	流動負債合計				12,472,855
負債合計				12,472,855	
正味財産				57,698,999	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品：最終仕入原価法による原価法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本資産				
普通預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
基金拠出金	1,000,000	0	0	1,000,000
田中榮一基金	1,000,000	0	0	1,000,000
国際大会誘致・開催積立資金	13,000,000	1,500,000	0	14,500,000
小 計	15,000,000	1,500,000	0	16,500,000
合 計	20,000,000	1,500,000	0	21,500,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本資産				
普通預金	5,000,000	—	(5,000,000)	—
小 計	5,000,000	—	(5,000,000)	—
特定資産				
基金拠出金	1,000,000	—	(1,000,000)	—
田中榮一基金	1,000,000	(1,000,000)	—	—
国際大会誘致・開催積立資金	14,500,000	—	(14,500,000)	—
小 計	16,500,000	(1,000,000)	(15,500,000)	—
合 計	21,500,000	(1,000,000)	(20,500,000)	—

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産について、財務諸表の注記 2. 特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

監 査 報 告 書

2024 年 3 月 21 日

公益社団法人 日本医学物理学会

代表理事 福田 茂一 殿

公益社団法人 日本医学物理学会

監事 櫻井 良彦

監事 新保 守史

監事は、2023 年 3 月 1 日から 2024 年 2 月 29 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財務諸表に対する注記及びその附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6-7年度 理事・監事選任の件

【理事候補】

氏名	所属
石川 正純	北海道大学大学院
石原 佳知	日本赤十字社和歌山医療センター
磯辺 智範	筑波大学
小澤 修一	広島がん高精度放射線治療センター
角谷 倫之	東北大学大学院
黒河 千恵	順天堂大学
張 維珊	東京都立大学
歳藤 利行	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
中村 光宏	京都大学
成田 雄一郎	新松戸中央総合病院
西尾 禎治	大阪大学大学院
沼崎 穂高	大阪大学大学院
納富 昭弘	九州大学大学院
林 直樹	藤田医科大学
福田 茂一	量子科学技術研究開発機構
水野 秀之	量子科学技術研究開発機構

【監事候補】

氏名	所属
赤羽 恵一	量子科学技術研究開発機構
櫻井 良憲	京都大学 複合原子力科学研究所

2024 年度 事業計画

【公益目的事業】

1. 学術講演会の開催

第 127 回大会

会 期：2024 年 4 月 11 日(木)－14 日(日)

会 場：パシフィコ横浜 会議センターおよびウェブ開催

大会長：石川 正純（北海道大学）

内 容：口頭発表、CyPos、特別講演、教育講演、シンポジウム、機器展示 等

第 128 回大会(第 10 回日韓医学物理学会学術合同大会(JKMP))

会 期：2024 年 9 月 19 日(木)－ 21 日(土)

会 場：名古屋国際会議場

大会長：歳藤 利行（名古屋市立大学医学部附属西部医療センター）

内 容：一般演題発表(口頭・ポスター)、特別講演、教育講演 等

2. 市民公開講座

応用物理学会次世代シンポジウム(ウェブ併催)期間中にウェブ開催予定

3. 学術出版物の刊行

「医学物理」(44 巻 1 号－4 号)

Supplement 44-1（第 127 回大会 報文集）

Supplement 44-2（第 127 回大会 教育講演資料）

Supplement 44-3（第 128 回大会 報文集）

Supplement 44-4（第 128 回大会 教育講演資料）

必要に応じて、ガイドライン等を Supplement として刊行

38 巻より電子版の発行に移行しており、冊子体を希望する会員へは有償頒布する。

“Radiological Physics and Technology”(Vol.17, No.1～No.4)

日本放射線技術学会と共同刊行

3,6,9,12 月発行予定

4. 委員会活動

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 1. 計測 | 4. 放射線防護 | 7. 広報 |
| 2. 教育 | 5. 国際交流 | 8. 用語 |
| 3. 編集 | 6. QA/QC | 9. 総務 |

- | | |
|----------|-----------|
| 10. 倫理 | 12. 学際交流 |
| 11. 大会支援 | 13. 医学物理士 |

5. 論文賞の授与

土井賞

MCA 賞 (Most Citation Award)

優秀査読者賞

6. 対外活動

IOMP への参画 (National Member、委員参加)

AFOMP への参画 (National Member、委員参加)

日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会との
連携 (合同の第三者出力線量評価認定作業部会、
情報交換等)

日本生体医工学会との連携 (相互に団体会員)

医学物理士認定機構 (構成団体、評議員)

放射線治療品質管理機構 (構成団体、理事)

日本ラジオロジー協会 (理事)

乳がん検診精度管理中央機構 (理事)

日本放射線研究連合への参画 (団体会員)

医療被ばく研究情報ネットワークへの参画
(団体会員)

アイソトープ・放射線研究発表会への参画
(発表会の際の運営委員)

日本画像医療システム工業会 (委員)

医用原子力技術研究振興財団 (委員)

量研機構量医研 (重粒子線がん治療装置等共同
利用運営委員会委員)

「国際医学物理の日」記念集会の企画・実施

標的アイソトープ治療線量評価研究会 (賛助会員)

【その他事業】

1. サマーセミナー

会 期: 2024 年 8 月 30 日 (金) ~ 9 月 1 日 (日)

会 場: ホテルリステル猪苗代

2. 研究課題援助

研究課題援助について公募し、申請された研究課題に対して、選考の上援助する。

3. 研究成果報告奨励

国際会議における研究成果報告に対して、選考の上補助する予定であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して実施の可否を決定する。

【法人】

1. 社員総会・理事会の開催

定時社員総会をパシフィコ横浜において 2024 年 4 月 13 日(土)に開催する。

予定議案:第 1 号議案 2023 年度事業報告承認の件

第 2 号議案 2023 年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減計算書)承認の件

第 3 号議案 その他

報告事項:2024 年度事業計画に関する件

2024 年度予算に関する件

理事会を開催する(7 回)。

2. 名誉会員の推薦

3. 共催および後援

他学会・団体の開催する研究会・セミナー等、会員へ裨益するものにつき、依頼により共催または後援する。

以上

収支予算書

2024年 3月1日から2025年 2月28日まで

公益社団法人日本医学物理学会

(単位:円)

目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
会費	10,108,000	0	15,162,000	0	25,270,000	25,970,000	△ 700,000
受取入会金	160,000	0	240,000	0	400,000	440,000	△ 40,000
正会員会費	9,600,000	0	14,400,000	0	24,000,000	24,600,000	△ 600,000
学生会員会費	176,000	0	264,000	0	440,000	500,000	△ 60,000
賛助会員会費	172,000	0	258,000	0	430,000	430,000	0
刊行物	1,336,000	0	0	0	1,336,000	1,336,000	0
広告収益	396,000	0	0	0	396,000	396,000	0
会誌掲載料	50,000	0	0	0	50,000	50,000	0
著作権収益	790,000	0	0	0	790,000	790,000	0
刊行物収益	100,000	0	0	0	100,000	100,000	0
大会・講習会収益	22,249,000	1,300,000	0	0	23,549,000	20,490,000	3,059,000
春季大会収益	3,000,000	0	0	0	3,000,000	2,450,000	550,000
秋季大会収益	18,749,000	0	0	0	18,749,000	14,940,000	3,809,000
サマーセミナー	0	1,300,000	0	0	1,300,000	2,600,000	△ 1,300,000
ウインターセミナー	500,000	0	0	0	500,000	500,000	0
雑収益	0	0	1,000	0	1,000	1,000	0
雑収益	0	0	1,000	0	1,000	1,000	0
経常収益計	33,693,000	1,300,000	15,163,000	0	50,156,000	47,797,000	2,359,000
(2) 経常費用							
事業費	43,147,000	3,600,000	0	0	46,747,000	43,396,000	3,351,000
臨時雇賃金	751,000	0	0	0	751,000	180,000	571,000
会議費	4,237,600	50,000	0	0	4,287,600	1,661,060	2,626,540
旅費交通費	3,305,000	150,000	0	0	3,455,000	2,460,000	995,000
通信運搬費	69,000	10,000	0	0	79,000	539,000	△ 460,000
消耗品費	1,300,000	20,000	0	0	1,320,000	375,000	945,000
印刷製本費	6,098,400	0	0	0	6,098,400	8,864,750	△ 2,766,350
賃借料	7,706,550	1,000,000	0	0	8,706,550	9,839,750	△ 1,133,200
諸謝金	2,316,000	150,000	0	0	2,466,000	2,730,000	△ 264,000
支払助成金	0	1,300,000	0	0	1,300,000	1,600,000	△ 300,000
支払負担金	2,360,000	0	0	0	2,360,000	2,260,000	100,000
委託費	13,149,654	850,000	0	0	13,999,654	9,422,284	4,577,370
システム維持費	1,357,000	0	0	0	1,357,000	2,806,000	△ 1,449,000
雑費	496,796	70,000	0	0	566,796	658,156	△ 91,360
管理費	0	0	7,300,000	0	7,300,000	6,952,000	348,000
臨時雇賃金	0	0	30,000	0	30,000	30,000	0
会議費	0	0	500,000	0	500,000	300,000	200,000
旅費交通費	0	0	1,000,000	0	1,000,000	800,000	200,000
通信運搬費	0	0	200,000	0	200,000	500,000	△ 300,000
消耗品費	0	0	150,000	0	150,000	150,000	0
印刷製本費	0	0	150,000	0	150,000	150,000	0
委託費	0	0	4,800,000	0	4,800,000	4,920,000	△ 120,000
租税公課	0	0	400,000	0	400,000	2,000	398,000
雑費	0	0	70,000	0	70,000	100,000	△ 30,000
経常費用計	43,147,000	3,600,000	7,300,000	0	54,047,000	50,348,000	3,699,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,454,000	△ 2,300,000	7,863,000	0	△ 3,891,000	△ 2,551,000	△ 1,340,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,454,000	△ 2,300,000	7,863,000	0	△ 3,891,000	△ 2,551,000	△ 1,340,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額					△ 3,891,000	△ 2,551,000	△ 1,340,000
一般正味財産期首残高					52,245,986	54,796,986	△ 2,551,000
一般正味財産期末残高					48,354,986	52,245,986	△ 3,891,000
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額					0	0	0
指定正味財産期首残高					1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高					1,000,000	1,000,000	0
II 正味財産期末残高					49,354,986	53,245,986	△ 3,891,000

計測委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 歳藤利行

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	歳藤利行◎、福村明史、小口宏、河内徹、川村慎二、草野陽介、小島徹、佐藤智春、清水森人、藤田幸男、松浦妙子、矢田隆一、山田崇裕、山下航、森下雄一郎、石川正純、田辺悦章、長畑智政、大平新吾、根本幹央、安井啓祐、布施拓、中村哲志（敬称略）
今年度課題	1. 次の 7 つの分科会ごとに、放射線計測に関わる課題の検討及び調査等を行う。 標準計測法、線量標準、光子・電子、小線源、重荷電粒子、中性子、診断放射線 2. 必要に応じて、各標準計測法、ガイドライン等のアップデートを図る。 3. I-125 シード線源の簡易計測法（総量確認法）の標準化に向けた検討（2022 年度 125I 線源強度計測課題検討ワーキンググループの継続活動）（小線源） 1) 検討会議・測定実験 3 回（4 月 or 6 月、9 月、11 月）対面または web 4. 新型 RALS 装置用密封小線源の国内トレーサビリティ確立の検討（小線源） 1) 日本アイソトープ協会・産総研・業者との協議 2 回 2) 情報公開 5. 密封小線源の線源強度計測に関する第三者評価導入の検討（小線源） 1) 線源強度のデータベースの構築 2) 第三者評価導入に向けた検討会議 3 回 対面または web 6. 重荷電計測に関わる文献、研究、情報収集（陽子線治療用出力の第三者計測体制の確立に向けた情報収集、陽子線絶対線量計測の高精度化に向けた情報収集）（重荷電粒子） 7. 外部照射における位置照合の撮影線量に関するアンケートの結果の解析および OBI/CBCT 撮像時における線量の実測評価方法の検討（診断放射線） 8. 光ファイバ型線量計 MIDSOF を用いた線量測定（診断放射線） 9. 放射線治療計画用 CT 装置・撮影線量の実態アンケート調査（診断 CT 装置との比較）（診断放射線） 10. 2023 年度 IAEA から出版される予定の TECDOC について、JSMP QA/QC 委員会及び日本中性子捕捉療法学会で和訳が実施される予定のため、その計測等に関する部分の和訳のレビューを実施（中性子）
委員会開催 履歴	4 月 14 日第 1 回計測委員会 パシフィコ横浜/Zoom 会議 出席 21 名 9 月 16 日第 2 回計測委員会 広島コンベンションホール/Zoom 会議 出席 11
総括 不足の場合は別 紙付加可	上記課題について検討し、以下の活動を行った。 ・標準計測法 12 増刷へ対応（第 12 刷）（標準計測法） ・電離箱の取り扱いについての検討ならびにリファレンス線量計に関する情報収集をすすめた。（線量標準）

	・第 125 回学術大会計測委員会企画「MR リニアックの磁場下における線量計測」を実施した (光子・電子) ・ MR-linac への対応を検討した。(光子・電子) ・ I-125 の計測法について JRIA や小線源 WG において引き続き検討した。HDR についても新しい RALS の装置 (BRAVOS) のトレーサビリティへの対応を JRIA と協力してすすめた。(小線源) ・ 文献調査ならびに、陽子線に関する第三者評価の実施にかかわる情報共有をすすめた。(重荷電粒子) ・ JSMP QA/QC 委員会と JSNCT と合同で、2023/6 に IAEA より出版された <i>Advances in boron neutron capture therapy</i> の計測などに関する部分の和訳作業を完了した。(中性子) ・ JASTRO の研究班の中で治療計画 CT の被ばく線量について 6 月ニュースレターにて報告した。治療以外の線量被ばくについてアンケート調査を行い論文化している。(診断放射線) ・ 医療用リニアック装置によって校正された放射線治療用線量計による水吸収線量の標準計測法 (リニアック標準計測法 24) を策定した。(医療用リニアック装置によって校正された放射線治療用線量計による水吸収線量計測法 WG)
--	--

教育委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 小澤 修一

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	小澤修一◎、津藤真司、石原佳知、杉本聡、藪田和利、納富昭弘、福田茂一、沼崎穂高、宇都宮悟、小野薫、加藤貴弘、唐澤久美子、古徳純一、舘岡邦彦、成田雄一郎、芳賀昭弘、宮部結城、角谷倫之、有村秀孝、和田真一コ
今年度課題	1. 医学物理サマーセミナー企画・開催 2. 学術大会教育講演企画・開催 3. 医学物教育のあり方検討 4. 海外の各団体の情報収集と会員への周知 5. IAEA RCA の E-learning コンテンツの審査 6. 医学物理誌上での編集委員会との共同企画 7. データベース分科会（広報委員会、QA/QC 委員会との共同プロジェクト）
委員会開催 履歴	2023 年 4 月 16 日 委員会会議@JSMP125（現地およびウェブ） 2023 年 9 月 16 日 委員会会議@JSMP126（現地およびウェブ） 随時ネット会議・メール会議を開催
総括 不足の場合は別紙付加可	1. サマーセミナー企画・開催（主担当：津藤） ・現地（ホテルリステル猪苗代）＋ウェブ（9 月 1 日～3 日）＋オンデマンド配信（～11 月 30 日）を実施。参加者数 117 名（うち現地 26 名） 2. 学術大会教育講演企画・開催（主担当：石原） ・医学物理教育コース交流会：125 回学術大会にて現地開催。 2023 年 4 月 15 日（土）15：40～17：50@パシフィコ横浜会議センター4 階 419 24 施設からの現状報告、IAEA の教育プログラムへの参加報告 ・125 回学術大会の教育講演 6 演題の企画・調整 ・126 回学術大会の教育講演 2 演題の企画・調整 ・第 2 回ウィンターセミナーを 2024 年 1 月 17 日(土) にウェブ＋オンデマンド開催。参加者 101 名。 3. 医学物教育のあり方検討（主担当：杉本） ・学会 HP の「医学物理教育プログラム」を更新 4. 海外の各団体の情報収集と会員への周知（主担当：藪田） ・学会 HP の「教育委員会ガイドライン報告」を 2023 年版へ更新 5. IAEA RCA の E-learning コンテンツの審査（担当：福田） ・診断、核医学、治療の各分野の審査に委員を派遣 6. 医学物理誌上での編集委員会との共同企画の準備（担当：納富） ・教育委員会企画記事を掲載。

	7. データベース分科会（主査：沼崎） • E-learning コンテンツの運営（会員ページからアクセス可能） サマーセミナー、ウィンターセミナー、学術大会の教育講演動画をアップロード
--	---

編集委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 長谷川 智之

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	姉帯優介、荒木不次男、河野良介、榮 武二、佐藤清香、杉本 聡、高橋 豊、納富昭弘、橋本成世、◎長谷川智之、藤崎達也、馬込大貴、松藤成弘、森 祐太郎、山田崇裕、渡部浩司
今年度課題	1. 機関誌「医学物理」の発行 2. 掲載記事の充実 3. 利便性向上
委員会開催 履歴	2023 年 4 月 15 日：対面（zoom 併用）於パシフィコ横浜（学術大会中） 随時：メール委員会
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 機関誌「医学物理」第 43 巻 1～4 号の発行 (1) 投稿論文：総説 1 編 (2) 依頼原稿：解説 3 編、開催報告 2 編、施設紹介 4 編、書評 1 編、連載コラム 4 編 2. 各種委員会企画 (1) 教育委員会企画：「外部放射線治療における水吸収線量計測の変遷」（齋藤秀敏著） (2) 計測委員会企画：「前立腺癌密封小線源永久挿入治療におけるヨウ素 125 シード線源の品質保証（同ワーキンググループ著） (3) RPT 誌特集：「RPT 誌の現況報告」（納富昭弘著）、表彰報告、論文紹介 3. 利便性向上 (1) 投稿票の自筆署名廃止・電子化 (2) 会員専用ページに掲載していたマイページ電子版をホームページ掲載として公開

編集委員会(英語論文誌)

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5 (2023) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 納富昭弘

委員 委員長◎ 副委員長○	編集委員長：◎兼松伸幸 副編集委員長：○荒木不次男,○榮 武二,○山谷泰賀 (3 名) シニアアドバイザー: 土井邦雄、遠藤真広、長谷川智之、桂川茂彦、真田茂 編集委員: 赤松剛,遠藤 暁,芳賀昭弘,羽石秀昭,林 直樹,角谷倫之,金澤光隆,川村愼二, 小森雅孝,馬込大貴,森 愼一郎,納富昭弘,隅田伊織,武居秀行,田島英朗,歳藤利行,渡部 浩司,山本誠一,米内俊祐(19 名) 担当理事・編集委員: 納富昭弘
今年度課題	1. 2023 年度の土井賞、RPT 誌優秀査読者賞(Outstanding Reviewer Award)、MCA 賞(Most Citation Award) の選考を行う。 2. RPT 誌の Impact Factor 獲得のための対策を検討する。 3. 編集委員の任期更新を行う。
委員会開催 履歴	1. 2023 年 3 月 18 日 第 1 回 RPT 全体編集会議 [オンライン開催] : 39 名出席 2. 2023 年 6 月 24 日 第 1 回 RPT 運営会議 [東京・ハイブリッド開催] : 12 名出席 3. 2023 年 9 月 2 日 第 2 回 RPT 全体編集会議 [オンライン開催] : 41 名出席 4. 2023 年 12 月 16 日 第 2 回 RPT 運営会議 [金沢・ハイブリッド開催]: 15 名出席 5. 随時、メール会議開催。
総括 不足の場 合は別紙付 加可	上記課題について検討し、以下の対応が行われた。 1. 2022 年度の土井賞 3 名、RPT 誌優秀査読者賞(Outstanding Reviewer Award) 6 名、Most Citation Award (MCA) 3 名の受賞者が決定し、JRC2023 期間中に表彰式を行った。 2. <u>2023 年 6 月に RPT 誌にはじめて正式に Impact Factor 1.6 (2022 年分) が付与された。</u> これまでの皆様の御支援・御協力に感謝申し上げます。なお、正式に IF が付与されると、自己引用率等も厳しく評価されるようになり、その割合が異常に高くなると引用操作とみなされて IF が取り消されることもございますので、御留意願います。 3. 編集委員の任期更新作業が行われた。編集委員の更新・継続の意思を確認した。また、2024 年度から新たに 4 名の新編集委員が就任することとなった。更に、荒木不次男副編集委員長が退任し、角谷倫之編集委員が 2024 年度から副編集委員長に就任することとなった。

放射線防護委員会委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 古場 裕介

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	古場 裕介◎、磯辺 智範、大谷 浩樹、川村 慎二、須田 雄飛、想田 光、 福士 政広、藤本 隆広、松原 孝祐、松本 真之介、森 祐太郎、盛武 敬、 米内 俊祐、赤羽 恵一、張 維珊（担当理事）
今年度課題	1. 情報共有 放射線防護に関する情報を収集・共有する。 2. 広報活動 放射線防護に関する情報を発信する。 3. 対外協力 放射線防護に関わる他組織と協力し、医療放射線防護活動推進に寄与する。
委員会開催 履歴	4 月 14 日 於：パシフィコ横浜及び Web 出席 14 名（現地 11 名、Web3 名） 9 月 16 日 於：広島コンベンションホール及び Web 出席 11 名（現地 6 名、Web5 名）
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 医療被ばく研究情報ネットワーク J-RIME 以下の J-RIME の総会・会合に医学物理学会からの代表として参加した。また DRL-WG のプロジェクトチームに参加した。 ・第 15 回総会出席（2022 年 5 月 8 日） ・DRL-WG 第 9 回会合出席（2023 年 6 月 26 日） ・DRL-WG 第 10 回会合出席（2023 年 9 月 4 日） ・DRL-WG 第 11 回会合出席（2023 年 10 月 29 日） ・DRL-WG 第 12 回会合出席（2023 年 2 月 7 日） 2. JSMP127 における委員会企画 JSMP127 において JSRT との合同企画として以下のテーマ、演者の講演企画を行った。 企画テーマ：医療従事者の被ばく低減のためのマネジメントシステム ～ 眼の水晶体の被ばくに対する取組 ～ 演者：QST 盛武敬 先生、産医大 中上晃一 先生 3. ICRP2023 サテライトイベント 11 月 16 日に核医学学会・核医学技術学会との合同で ICRP2023 サテライトイベントとして JSMP-JSNMT-JSNM 合同シンポジウム、招待講演 3 件を開催した。

国際交流委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 林 直樹

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	林 直樹◎、松浦妙子○ 有村秀孝、伊良皆拓、小澤修一、亀澤秀美、加茂前健、呼尚徳、高橋豊、武川英樹、 武村哲浩、中市徹、中山雅央、福田茂一、水野裕一、門前一、八木雅史
今年度課題	1. 海外学会団体等との交流と共同事業推進、会員への情報共有 AFOMP や IOMP の NMO としての交流や共同事業の推進を図るとともに、AAPM や EFOMP などとの交流推進も図る。また、これらの情報を会員へ展開する。 2. 海外学会等への派遣事業に関すること 海外学会や研修へ参加する会員の審査やそれに関連した案件を実施する。 3. JSMP 学術大会での国際関連企画の支援 春の大会や秋の大会での国際交流関連企画の立案、および関連企画への後方支援をする。 4. その他の国際交流関連企画の後方支援 International Day of Medical Physics や International week of Medical Physics などの情報を会員へ展開し、実現する。
委員会開催 履歴	1. メール会議等 2. 適宜オンライン会議
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. AFOMP や IOMP の webinar 等の企画を会員へ情報展開した。 AFOMP council meeting や IOMP council meeting へ参加した。 2. AOCMP2023 において、渡航援助は行わなかった。 これは会場が国家管理下の場所にあり、会場に入るために特別な VISA が必要であったため。演題登録数は少なく、渡航援助対象者が極めて少ないことと、Kiyonari Inamura Award の費用を AFOMP に送らなければならなくなったことから、渡航援助の費用を Kiyonari Inamura Award の運営資金として送った。会期中の AFOMP council meeting については、福田会長、川村先生(西尾副会長の代理)、林が現地参加をした。 3. JSMP126(広島)への企画支援 JSMP126 中に国際交流委員会企画を開催した。

	4. JSMP127 への企画支援 JSMP127 を IOMP と AFOMP より Endorse してもらうための申請を行った。 国際交流委員会企画の講師としてマレーシアから 1 名の招聘を行った。 5. IDMP2023 の開催 全国 7 箇所での JBMP 国際交流委員会と共同でシンポジウムを開催した。 6. AAPM との連携 AAPM2023 において、AAPM, KSMP, JSMP との連携でのシンポジウムを開催した。 AAPM2024 でも同様のシンポジウムを企画することとなった。 7. AFOMP award, fellow, IUPESM award などへの申請 各種アワードの案内や申請について取り次ぎを行った。 Kiyonari Inamura Award については、JSMP から年間 600USD を AFOMP に支援するという覚書(MOU)を交わした。 8. 2024 年度の運営企画について AFOMP や IOMP に加えて AAPM との連携に関する事業、JSMP 学術大会における委員会企画の起案、AOCMP の運営企画補助など、会員の国際交流派遣推進事業について議論を行った。 9. その他の国際交流に関すること全般
--	---

QA/QC 委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 中村 光宏

委員 委員長◎ 副委員長○	中村 光宏◎、岡本 裕之○、石川 諒尚、伊良皆 拓、右近 直之、柿野 諒、加藤 貴弘、角谷 倫之、河原 大輔、熊田 博明、呼 尚徳、小玉 卓史、杉本 聡、鈴木 俊介、武川 英樹、田中 浩基、恒田 雅人、豊田 雅彦、中村 哲志、福永 淳一、藤田 幸男、前田 貴雅、宮部 結城、棕本 宜学、山田 崇裕
今年度課題	● スクリプトガイドライン WG、適応放射線治療 WG、加速器型 BNCT WG、核医学治療 WG ● 他学会・団体の学術研究活動との連携（JASTRO・医用原子力技術研究振興財団など）
委員会開催 履歴	適宜 WEB 会議（2023 年 3 月 14 日、5 月 16 日、7 月 18 日、9 月 19 日、11 月 28 日、2024 年 1 月 23 日）、メール会議
総括 不足の場合は 別紙付加可	- スクリプトガイドライン WG：武川、河原、小玉、杉本、藤田、宮部、棕本 ● 2023 年 5 月 1 日にガイドラインが公開された。 - 適応放射線治療 WG：伊良皆、恒田、岡本、角谷、豊田、福永、藤田、棕本 ● Online ART 装置所有施設（9 施設）を対象に、厚労科研補助金 大西班と共同でアンケートを実施した。その結果を 2024 年 3 月 2 日に開催された第 37 回高精度放射線外部照射部会学術大会で報告した。 - 加速器型 BNCT WG：中村（哲）、石川、柿野、加藤、熊田、呼、鈴木、田中 ● “Advances in Boron neutron capture therapy”の日本語訳：JSMP 担当分について各章の修正を行った。担当者より再提出いただき、フォーマット調整などを実施している。 ● 加速器 BNCT 装置用の QA/QC 項目の策定：国内 4 施設のデータ解析が終了し、統一的な QA/QC 項目を設定するための項目案を作成した。今後は実施施設への訪問調査などを通して、過不足などを確認する。 - 核医学治療 WG：右近、前田、山田 ● TRTdose 研究会・JSMP・JSRT・JSMNT・JSMN が共同して Dosimetry Challenge in Japan を計画中である。 ● TRTdose 研究会と共同で日本における TRT における新たな教育資料の出版および販売を検討中である。 - 第三者出力線量評価関連 ● 2023 年 8 月 3 日に第 1 回認定審査、2024 年 1 月 10 日に第 2 回認定審査を行った。第 1 回認定審査では第三者出力線量評価認定施設 36 施設及び第三者出力線量評価認定機関 1 機関が、第 2 回認定審査では第三者出力線量評価認定施設 8 施設が認定された。 ● 第三者評価ガイドライン 2019 の改訂版が JSMP 理事会で承認された。

広報委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 角谷倫之

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	角谷倫之◎、石原佳知○、新井一弘、稲葉洋平、金井貴幸、久保 均、齋藤正英、千葉貴仁、張 維珊、津田啓介、中島祐二郎、平島英明、藤田幸男、三輪建太、山下幹子、脇田明尚
今年度課題	1. HP の管理・運営 2. SNS の管理・運営 3. jsmp-hiroba の管理・運営 4. メドピー選手権開催
委員会開催 履歴	随時メール会議及びオンライン会議
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. HP の管理・運営を行った。 2. SNS の管理・運営を行った。 3. jsmp-hiroba の管理・運営を行った。 4. 秋季学術大会にてメドピー選手権開催を開催した。 

用語委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 小口 宏

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	小口 宏◎、秋田和彦、阿部慎司、上田悦弘、奥村雅彦、小田倫生、株木重人、木藤哲史 佐藤智春、隅田伊織、高津 淳、田ノ岡征雄、田村昌也、津藤真司、南部秀和、布施 拓 馬籠大貴、茂木佳菜、門前 一、矢田隆一、山田幸子
今年度課題	1. EMITEL への対応 2. 用語集の JSMP-JSRT 共同管理 3. JASTRO 用語集とのすり合わせ 4. 用語集の更新(スリム化) 5. 用語集の更新(用語追加) 6. 用語集 HP の更新 7. その他
委員会開催 履歴	4 月 14 日 第 1 回:パシフィコ横浜会議センター5F 512 室(ZOOM 会議併用) 7 月 27 日 第 2 回:ZOOM 会議 9 月 15 日 第 3 回:広島コンベンションホール会議室 3D(ZOOM 会議併用) 12 月 21 日 第 4 回:ZOOM 会議 1 月 5 日 第 5 回:スリム化に関する会議(ZOOM 会議) 1 月 9 日 第 6 回:用語追加に関する会議(ZOOM 会議) 3 月 18 日 第 7 回:各班の経過報告と今後の方針(ZOOM 会議)
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. EMITEL への対応 ● 有村先生を通して EMITEL の Slavik Tabakov, PhD 氏に用語委員長の小口を紹介していただいたが、作業依頼はなかった。 2. 用語集の JSMP-JSRT 共同管理 ● 将来的には、RPT 誌を見据えて用語集の一本化に向け意見交換を行った。 ● JSRT 用語委員会は用語を増やす方向で進めているが、追加する用語には定義を付けない方針である。 3. JASTRO 用語集とのすり合わせ ● 特にすり合わせが必要な用語はなかった。 4. 用語集の更新(スリム化) ● 削除目標用語数は持たず無闇な用語削除は行わない方針とした。 ● 732 語を削除し、代表語の類義語とする用語(1664 語)の削除を検討した。 ● それ以外の用語に関し、医学物理学の観点より必要性を吟味し、削除を進めた。

	5. 用語集の更新(用語追加) - プロジェクト班を再編成し、スリム化班以外外に追加用語を選定するために3班(核医学治療、MR-LINAC、ART・AI・その他)を立ち上げ、それぞれ用語の選定を進めた。 6. 用語集 HP の更新 - HP のマスターファイルの更新は行えなかった。 7. その他 - 略語集の取りまとめを行った。
--	--

総務委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 水野秀之

委員 委員長◎	水野 秀之◎、福田 茂一、西尾 禎治、赤羽 恵一、乳井 嘉之、中村 光宏、田中 創大
今年度課題	学会活動を円滑に行うため、以下の業務を行う。 1. 総会、理事会議案調整 2. 事業計画案、事業報告案の作成 3. 会員名簿管理 4. 定款・細則などの制定、改定に関する案文作成 5. 委員会活動の調整 6. 名誉会員の推薦 7. その他必要な業務
委員会開催 履歴	2023 年 3/22（出席 7 名）、6/2（出席 4 名）、9/13（出席 6 名）、11/29（出席 6 名）、12/2（出席 4 名）、2024 年 1/31（出席 6 名）、2/3（出席 5 名）他、頻回のメール等
総括 不足の場合は 別紙付加可	1. 理事会議案調整（2023.3~で 6 回開催）、理事会メール審議対応 9 回（治療計画スクリプトガイドライン発刊、AFOMP の賞への推薦、AFOMP award エントリー、IOMP アワードへのエントリー、2023 年度研究課題援助、JASTRO 第三者評価ガイドライン 2023、日本医学物理学会における演題の倫理承認および利益相反（COI）に関する指針、2023 年度 RPT 誌土井賞・優秀査読者賞、2023 年度 Most Citation Awards の推薦）、総会議案調整 2. 事業計画案、事業報告案の作成（各委員会の事業計画・予算のとりまとめ等） 3. 会員名簿管理（名誉会員（榮 武二先生）の推薦・盾の作成） 4. 国際大会の誘致・開催に対する特定資産の取扱規程整備・積立の実施。 5. 委員会関連業務（選挙管理委員会の組織・支援） 6. 公益法人化対応（内閣府への国際大会誘致についての変更届（追記）・事業報告・事業計画書の提出、財務 3 基準を満たすための積立） 7. 対外活動 ・関連団体への理事・委員等の派遣対応（IOMP、AFOMP、JBMP、JASTRO、品質管理機構、JRC、精中機構、RI 協会、JIRA、JARR、ANTM、QST、J-RIME） ・賛助会員（法人）：日本生体医工学会・標的アイソトープ治療線量評価研究会 ・後援：日本放射線影響学会第 66 回大会 ・協賛：第 42 回日本医用画像工学会大会、第 61 回アイソトープ・放射線研究発表会 ・JSRT 懇談会・秋季学術大会式典への会長派遣 ・厚労省班会議『放射線療法の提供体制構築に資する研究』大西班協力依頼対応 ・日本学術会議の新連携会員の候補者選考結果通知対応（西尾副会長） 8. その他各種調整業務等（監事監査、Zoom 契約、インボイス制度対応）

倫理委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 西尾 禎治

委員 委員長◎	西尾 禎治◎ 岡本 裕之、片寄 哲朗、唐澤 久美子、黒岡 将彦、恒田 雅人、中村 光宏、 深堀 麻衣、水野 秀之、辻角 智之
今年度課題	1. 本会会員が行う学術研究発表における倫理に関する調査・検討・教育・啓発 ・ 学術大会実行委員会およびプログラム委員会との連携 ・ 編集委員会、RPT 誌編集委員会との連携 2. 倫理に関する申告を受けた案件についての調査・検討 ・ 倫理的および社会的観点からの調査・検討と理事会への報告 ・ 必要に応じて有識者から意見聴取 3. 必要に応じて倫理に関する細則についての調査・検討 4. 必要に応じて個人情報保護に関する細則についての調査・検討 5. その他
委員会開催 履歴	適宜メール審議
総括 不足の場合は 別紙付加可	1. JSMP126 倫理審査対応 ・ 倫理委員会から 2 名の委員をプログラム委員会へ入れて対応した。 2. JRC2024/JSMP127/ICRPT 倫理審査対応 ・ ICRPT 発表演題に対する倫理審査について、倫理委員会から 2 名 (JSMP127 兼)、JSMP127 プログラム委員会委員から 4 名の担当者が決まり、計 6 名で実施することになった。 ・ ICRPT 倫理審査担当者の JSRT の倫理講習会を受講することで、知識の共有化を図った。 3. JSMP 及び JSRT の両学会で、ICRPT の演題倫理規定等について検討を行った（継続検討）。 4. 演題倫理規定等の英文化の検討を行った。

大会支援委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 久米 恭

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	久米 恭◎、石川正純○、歳藤利行○、阿部慎司、有村秀孝、磯辺智範、岡本裕之、小澤修一、兼松伸幸、亀澤秀美、川内野友彦、河原大輔、川村慎二、黒岡将彦、黒河千恵、小島秀樹、小森雅孝、佐々木誠、棚邊哲史、成田雄一郎、西尾禎治、乳井義之、林 直樹、福田茂一、藤崎達也、明上山温、三浦英治、水野秀之、森祐太郎
今年度課題	1. 大会長候補者の選考 会長からの要請により候補者を選考して答申。（その後理事会決議を経て委嘱） 2. 個々の学術大会の準備を支援 準備の工程管理、大会役員への助言、マニュアル化。 特別企画テーマの検討、演者・座長の推薦。 海外演者対応、倫理相談、広報や出版の支援。 企業広告、他団体からの協賛や後援の仲介、等。 3. 学術大会と他の常設委員会との連携の仲介 委員会主催企画など連携の維持促進。 4. 委員就任依頼
委員会開催 履歴	3/7（リモート）、4/15-16（パシフィコ、4/15 会議、4/16ITEM 出展ブース訪問）、5/15（リモート）、10/11（リモート）、11/09（リモート）
総括 不足の場合は別紙付加可	1. 委員の就任依頼（委嘱） 2. 分科会の設置と活動 プログラム支援委員会分科会 ICRPT の企画運営・検討 3. 大会長候補者の選考 130 回大会 131 回大会の大会長候補者の募集と選考 4. 開催企画中大会（126-131 回）のフォロー

学際交流委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5（2023）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 磯辺智範

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	磯辺智範◎、笈田将皇、黒河千恵、小島礼慎、眞正浄光、武居秀行、都築 明、西岡史絵、 納富昭弘、福田茂一、森 祐太郎
今年度課題	1. 交流活動 2. 委員推薦 3. 後援等 4. 表彰候補者推薦 5. 研究課題援助 6. その他
委員会開催 履歴	Web 会議（Zoom）：3/6、11/12 メール会議：3/1～3/5、3/9～3/13、7/4～7/18
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 交流活動 (1) 渉外活動 ① 日本放射線技術学会（JSRT）との懇談会：7/31、2024/1/26 ② 日本生体医工学会（JSMBE）との Web ミーティング：5/9 (2) 学会での合同企画 ① 日本生体医工学会（JSMBE）：第 125 回日本医学物理学会学術集会（4/15、パシ フィコ横浜）「IoT changes Healthcare（IoT が変える医療の形）」 ② 日本生体医工学会（JSMBE）：第 62 回日本生体医工学会大会（5/20、名古屋国 際会議場）「医用画像イメージングにおける AI と仮想技術の活用」 (3) 日本医学物理学会（JSMP）・日本医用画像工学会（JAMIT）双方の学術集会におけ る参加費相互優遇制度（覚書, 12 月 6 日締結） ・内 容：参加費を各開催学会の会員と同額に設定 ・対 象：JAMIT(7, 8 月開催), JSMP(9 月開催)

2. 委員推薦

(1) 第 61 回アイソトープ・放射線研究発表会（主催：日本アイソトープ協会, 2024/7/3
～7/5）運営委員

(2) NPO 法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 役員（R6 年度～, 2 年/期）2 名

3. 後援 等

(1) 第 60 回アイソトープ・放射線研究発表会（主催：日本アイソトープ協, 7/5～7/7）：
協賛

(2) 第 42 回日本医用画像工学会大会（7/27～7/29, 大阪大学中之島センター）：協賛

(3) 第 4 回標的アイソトープ治療線量評価研究会大会（主催：標的アイソトープ治療線

	量評価研究会, 9/2, Web 開催) : 後援 4. 表彰候補者推薦 (1) 日本学術振興会賞 (3 月) : 推薦なし (2) 日本学術振興会育志賞 (5 月) : 推薦なし (3) 科学技術分野の文部科学大臣表彰 (6 月) : 推薦なし 5. 研究課題援助 (1) 2021 年度採択課題 (2021・2022 年度援助) : 第 126 回学術大会 (9/15, 広島コンベンションホール) で成果報告 (2) 2022 年度採択課題 : 継続を承認 (50 万円) (3) 2023 年度採択課題 (新規) : 12 件の応募から 1 件を採択 (50 万円) 6. その他 (1) 国際研究交流状況調査 (公益財団法人 未来工学研究所 / 依頼元 : 文部科学省科学技術・学術政策局長) への協力 (2) 英語論文誌 (RPT 誌) IF 獲得記念講演会の開催 ・テーマ : IF 獲得後の次のステージを目指して ・第 126 回日本医学物理学会学術集会 (広島コンベンションホール, 9/17) 、 第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会 (名古屋国際会議場, 10/28) ・講演者 : 兼松伸幸 (JSMP, QST) 、白石順二 (JSRT, 熊本大学)
--	---

医学物理士委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 5 年度（2023 年度）の活動につき、下記の通り報告いたします。

報告者氏名 石川 正純

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	石川正純◎、西尾禎治、宇都宮悟、亀澤秀美、黒岡将彦、黒河千恵、小泉雅彦、高田健太、武川英樹、津田啓介、恒田雅人、遠山尚紀、中村哲志、西岡史絵、芳賀昭弘
今年度課題	1. 医学物理士に関する将来像、情報交換等における JCMP、JBMP 等との連携体制の構築。 2. 職種別医学物理士支援についての検討
委員会開催 履歴	2023 年 4 月 15 日 医学物理士委員会を開催 2024 年 1 月 26 日 日本放射線技術学会との懇談会に出席 適宜メール会議
総括 不足の場合は別紙付加可	1. 職種別の医学物理士支援の検討 病院で勤務する医学物理士、研究・教育機関に勤務する医学物理士等、医学物理学会に所属する職種別の医学物理士支援に関する検討した。 2. 日本放射線技術学会との懇談会への参加 医学物理士に関する将来像、情報交換等を目的として日本放射線技術学会との懇談会に出席した。 3. 厚労科研・大西班への対応 厚労科研・大西班「物理技術専門職に関するアンケート結果(要約) および放射線治療計画業務補助者の教育/研修体制等の構築」に対するコメントの集約